

4月14日（水）対面式

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

私は、これまで5年間この敷地で過ごしてきました。その中で感じたことを皆さんにお伝えしようと思います。

はじめに、みなさんに一つ質問をしたいと思います。みなさんは諫早高校にどんな印象を持っていますか。頭のいい学校。陸上の強い学校。真面目な学校。人によっていろいろな答えがあると思います。

私は「諫早高校は生徒が主体的に行動する学校、生徒が創り上げる学校」だと思います。

ここでは、先生のおっしゃることをただ聞き、それをこなすだけではあまり評価されません。

① プラスアルファ自分で行動する姿勢

② 失敗を恐れず、果敢にチャレンジし、困難やきついことに立ち向かっていく姿勢

が評価されます。みなさんも是非そういった姿勢でこれからの3年間を過ごしてください。

そして、高校生活の3年間は、皆さんの思った以上に速く過ぎ去ってしまいます。

だからこそ、後悔しないよう、さまざまなことに積極的に取り組んでください。

次に、私が思う諫早高校の良い点を紹介します。

一つ目は、先生方の存在です。

諫早高校では多くの先生が親身になって話を聞いて下さり、また勉強の質問に対しても丁寧に答えて下さります。この環境を是非利用してください。

二つ目は、友人の存在です。

諫早高校は身の回りに自分の刺激となる友人が多くいます。それは勉強だけではありません。校外活動に積極的に取り組む人や、部活動でインターハイ・全国大会に出場する人、ピアノ・ギター・お笑いなど一芸に秀でている人、など様々な個性を持った人たちが集まっています。みなさんもそのような存在に刺激を受けながら、お互いに高め合っていてほしいと思います。

最後に、諫早高校は歴史ある高校ですが、まだ発展途上だと思います。

実際私が在籍しているこの5年間でも学校は大きく変わっています。これからこの学校の一員となるみなさんが、学校改革の一翼を担う存在となっただけなら、生徒会長としてこれ以上嬉しいことはありません。在校生一同、みなさんの入学を心より歓迎します。

みなさんの学校生活が素晴らしいものとなるよう祈念して、挨拶いたします。

令和3年4月8日 高校総務委員長 白石大起